NagoyaGRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題　「VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP 」
価値観、エクステンション、リーダーシップ
アジア太平洋地域主題「変化をもたらそう」Make a difference
西日本区理事主題　「“Let’s do it now !”」　“2022 に向け誇りを持って All is Well.”
中部部長主題　「知らせよう ワイズの奉仕活動を」
クラブ会長主題　「コロナ渦の中・新しい YMCA サポート模索し実行」

がんばれ日本　がんばるワイズ

2020 年　9 月

―――――――――――＜今月の聖句＞―――――――――――

「わたしはブドウの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。
わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである」　ヨハネによる福音書１５章５節

クラブホームページ　http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2019-2020.pdf

2020 年９月例会　他ご案内

@９月第１例会・オンライン卓話
と　き：９月１１日(金) １９：００～
ところ：ＺＯＯＭ 開催
講　師：日本語学院チューター
原　昇 氏
卓 話：{５０歳前の就活（就職活動）}
～ニューギニア新政府へのアタック～

@９月第２例会・ＷＥＢ例会
（担当　坂口・荒川）
と　き：９月１５日(火)
２０：００～２１：００
・事前に荒川君より準備依頼があります

@２０２０年度中部部会　中止
（担当　早川・服部）
コロナウイルスの感染拡大が今後も続く模様で、感染予防の為、中止となりました。

@日和田キャンプ場クローズ作業
と　き：９月２１日(月・祝)
ところ：名古屋ＹＭＣＡキャンプ場
今年はクローズキャンプを実施せず
当日で今年度の日和田キャンプを閉鎖します。

@名古屋ＹＭＣＡ大会
と　き：９月２６日(土)
ところ：ＺＯＯＭ 開催

８月例会	例会出席状況				B Fポイント		クラブファンド（月）	
	在席者	14 名	第 1 例会	7 名	当月・切手	-	ニコ BOX ノート	-
	例会出席者	22 名	第 2 例会	14 名	当月・現金	-	感謝ファンド	-
	当月出席率	157%	その他	16 名	累計	-	累計	-

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
＝強い義務感を持とう。義務はすべての権利に伴う

８月第一例会 日和田キャンプだホイ

日　時：2020 年 8 月 15 日（土）17：30～
会　場：名古屋ＹＭＣＡ御嶽日和田キャンプ場
出席者：荒川+メネ、遠藤、坂口＋メネ＋ララ、高田＋メネ、服部＋メネ、松原＋メネ＋コメ、吉田
ゲスト：松坂、秋重、アラレちゃん、中村総主事、清水（とやま）、リーダー4名（ハムハム、すばる、かめ太郎、みっつー）

高田 師之子

キャンプだホイ！の名のもとに美味しい野外料理をみんなでつくる！キャンプファイヤーを囲んでキャンプソングをみんなで歌う！8 月 15 日日和田高原キャンプ場にて開催されました。暑い名古屋を離れ久しぶりのキャンプ場はとても涼しく爽やかな風に吹かれ野外料理とお酒の美味しいこと！ピザやパスタや肉料理など昔のキャンプ料理とはちがいおしゃれでみなさん大満足でした。日が落ちてからは真っ暗な闇の中をファイヤー場まで歩きます。本当に真っ暗な中で見る星たちはプラネタリュウムにいるようでこんな感激は久しぶりでした。

キャンプファイヤーは若いリーダー達が盛り上げてくれ懐かしいキャンプソングに合わせて踊ったり歌ったりで楽しいひと時でした。このご時世、コロナの心配のない広い場所で皆さんと楽しく集える場所と機会があることに感謝いたします。
・高田追伸　小生はいささか飲み過ぎて記憶装置が壊れてしまい原稿のネタ不足の為メネットに代打をお願い致しました。

第２例会・オンライン例会議事録

日　時：8 月 25 日（火）20:00～21:00
出席者：坂口、三井、服部、遠藤、荒川、信田、早川、吉田、松原、高田、坂野、阿部、下村、青木（順不同・敬称略）
（100%出席おめでとう！）
ゲスト：名古屋クラブ平野実郎会長

1. 報告
1-1　ワイズ関係の動き報告　早川中部部長
・中部各クラブ会長とオンライン会議をした。西日本区理事を中部から出して欲し いとの遠藤指名委員会委員長（大阪泉北クラブ）から要請があったが、中部各クラブの 8 月第二例会の意見をまとめた結果、中部として輩出することは、グランパスクラブの意見も含めて難しいと伝える予定。
1-2　中部部会状況　早川中部部長
・中部部会は現段階では中部各クラブの意見をまとめた結果、中止の方向で考えている。
グランパスクラブがホストなので、クラブ三役で協議して近日中に結論を出してほしい。
1-3　全国 YMCA、名古屋 YMCA 報告　遠藤恵美子
・24 日から熊本水害支援としてスタッフ 2 名が現地に入っている。
・日和田キャンプ場は 9/20～9/21 にファミリーキャンプを実施して、そのままクローズ予定。
・日本語学校は 10 月入学の準備中。
・チャリティーランは予定通り開催予定。
・9/26　YMCA 大会はオンライン開催予定。
・南山バザーは例年通りの開催ではなく、幼稚園の行事の一環として行う予定
（ワイズとしての支援はないかもしれない）。
1-4　9 月例会：オンライン卓話について　荒川恭次
・9/11 予定通り開催。20 時からオンラインにて。
パワーポイントを使用する。
講師は日本語学院チューターの原さん。
・謝礼はどのように渡すか。日を改めて日本語学校で渡すか。
・オンライン卓話は初めてなので、他クラブにもアピールしたい。卓話の内容と講師の紹介があるとよい。
・坂口会長は出張で出席できない。
1-5　日本語学院支援について　吉田一誠
1. 日本語学校支援プログラムについて
・蕎麦を食べる会 10 月 17 日　現状開催は難しいが今 100 束ある蕎麦をどうするか。
・セカンドハーベスト名古屋（フードバンク）からの支援を受ける方向だが、支援を受けるには審査が必要。セカンドハーベストから日本語学校を見学に来る予定はあるが現在コロナの影響で延びている。
2. チャリティーラン日本語学院参加応援
・セカンドハーベストには日和田学童キャンプを支援してもらった経緯がある
・チャリティーランに１チーム分、グランパスが支

援する。チャリティーランについては、バーチャルチャリティーランと、従来通りの名城公園での２本立て開催。チラシは今月中に出来るのではないか。
・SO 枠はどうなるのか。遠藤さんから坂本さんに確認してもらう。
・セカンドハーベスト名古屋（フードバンク）からの食材支援を受ける方向だが、支援を受けるには審査が必要。セカンドハーベストから日本語学校を見学に来る予定はあるがコロナで延びている。（セカンドハーベストに学童キャンプを支援いただいた。）

1-6　柴田君を偲んで写真と思い出文章　服部庄三
・10 月号ブリテンに追悼の文章と写真を掲載する予定。彼が YMCA に貢献した記録を残したい。
9 月 20 日までに各自写真を集めてほしい。

1-7　ワイズポテトについて　　坂口功祐
・今年も見送り。

2. フリートーキング
・ブリテン原稿（〆切は 8 月 30 日厳守にて）
8 月第一例会（日和田）：高田
第二例会：下村
学童キャンプ（1 期 2 期）：松原
YMCA たより：遠藤

第２期学童キャンプレポート

1 期：　2020 年 7 月 26 日（日）～7 月 31 日（金）
2 期：　2020 年 8 月　2 日（日）～8 月 7 日（金）

第 1 期
出席者：遠藤、吉田、荒川、松原、
ゲスト：渡辺真悟（名古屋クラブ）林敦子、あられ、
第 2 期
出席者：遠藤、三井、荒川、松原、早川、坂口メネ
ゲスト：林敦子、あられ、渡辺真悟（名古屋クラブ）、
カレー、いんどん、

松原　行謙

今年は規模を縮小せざるを得ない状況下とはいえ学童キャンプが決行できたことで、名古屋ＹＭＣＡの社会に果たす役割が再確認できたことと思います。まず第一にコロナ禍で自分自身や周りの細部に至るまで衛生に対する意識を保ち実践ができました。その一方で幅広い価値観と多様性を持つ海外のリーダーたちとの関りが持てないのは致し方ないことでした。次世代のために生きている私たち厨房スタッフが知識と経験を少しでも伝えられたかというと少なくても私に限っては及第点はもらえない。ただキャンプの裏方としての役割は何とか先達の指導の下こなせるようになったであろう。厨房スタッフの皆さんありがとうございました。トータルパーソンを目指す教育の中でキャンプの果たすべき役割は大きいと思う。もちろん自然を思う存分満喫することは言うに及ばない。生き物をこよなく愛する子もいた。またその逆にとても毛嫌いする子もいた。凸凹でいい。人よりもほんの少し得意で苦にならないこと、そんなことを見つけて邁進するこどもを如何にサポートできるのか。また共同生活の中での人との関わり方もみんなで一緒に勉強しました。けんかもあり人生は友情と愛情の獲得競争だという一面もあらわになりました。もちろんＹのスタッフは絶えずトータルパーソンを育むために試行錯誤し精進しています。ここで思いつくままエピソードや感じたことを列記したいと思います。

(7 月 26 日の夕食のブタ丼)

毎食のメニュー表を低学年から高学年まで工夫を凝らして漫画も加えて作成してくれ、とても大人には真似できないものでした。恒例の綿菓子タイムはほっこりするひと時でした。また例え雨の日でもずぶぬれになりながらも自然の中を元気よくはしゃぎまわり、寒い寒いとシャワーまちをこどもたちがしていたのが印象的でした。

（松坂さんの畑でのジャガイモ収穫作業）

野外料理のカレー作りではおぼつかない手つきでの包丁使いやまき割りをし、何事にも懸命に取り組みました。キャンプファイヤーのグループゲームも個性あふれるもので盛り上がり、モルツ（行謙のリーダー名）もみんなに慕われ素直に嬉しかったです。みんながモルツ、モルツと呼んでくれるのにこどもの名を数名しか覚えれなかったのは反省しています。ファイヤーの帰り道、漆黒の地面に寝そべり満天の星空を見上げました。ふとその時 2 人の低学年の会話が聞こえました。「今までに付合った男の子で誰が一番？」「だれそれ君」、・・・う～ん、あどけないと言うか何というか・・・

また冷たい川遊びでも時間も忘れて水の掛け合いと水泳の練習に興じました。「モルツいっしょに遊ぼう、モルツはプロのカメラマン？」かわいい問いかけですね。ある高学年の子はモルツを執拗に追いかけまわし、「モルツはお家でビールが飲めていいなぁ」「はたち超えたら飲めるよ」というと、「モルツははたち超えたの」　ん？マジかよ・・・モルツをいじってたその子も名前を呼び肩に手をまわしてやれば心が和んだようで友情・愛情でつながったかな。松坂さんの畑でのじゃがいのほりではみんながむしゃらに土を掘り、見つけた時の笑顔は何物にも代えがたいものでした。もっとギターでみんなと一緒に歌いたかったけどそれぞれのこどもにとって日和田の森のひと夏の思い出はかけがえのないものだと確信しています。私として 2 期間を通して涼しく快適な日和田の森で厨房スタッフとして心の自由を満喫できたことはとても喜びに満ち、ありがたいことでした。第一期は雨も多く、このコロナ禍でキッチン作業に気を使い、体調管理・こどもとの物理的なふれあいにも注意・気配りを怠らないよう神経を使った場面もありました。また料理だけでなく、清掃・ごみの焼却・備品・キャンプ場整備などなど先達の指揮の下、勉強の日々でした。第二期は天候にも恵まれ気持ちの余裕も生まれ全ての点で適応・応用活動ができた様に思います。私たち厨房スタッフは先達の経験や苦労も参考にし、遠藤さんたちがこれまた苦労してこしらえたメニューを唯作るだけとはいえ、その都度ワイワイガヤガヤ多少の創意工夫もあり料理作りは楽しい時間でした。お米の量をこどもたちのおなかの減り具合に合わせ加減するのも楽しみでした。ごみ焼却後の灰を埋める穴掘りは石だらけの土壌故に苦労しました。また特に第二期はすべてのプログラムをこどもたちは体験でき、私もそのほとんどにカメラ片手にこどもたちとはしゃぎまわりました。またひとつこころの繋がりが広がったことに感謝です。
キャンプに関わったすべてのみなさんご苦労様、そしてありがとうございました。

２０２０年度　学童キャンプ報告

名古屋 YMCA 遠藤恵美子

1 期：　2020 年 7 月 26 日（日）～7 月 31 日（金）
　　参加者：21 名
2 期：　2020 年 8 月　2 日（日）～8 月 7 日（金）
　　参加者：20 名

5 年目を迎えた今年の学童キャンプは、2 期合計 41 名の子どもたちとともに実施することができました新型コロナウィルスの影響もあり、実施方法を変更し、自分や相手の健康を守りながらキャンプを実施いたしました。 雨が降る日は、カッパを着てイモリやカエルを追いかけて走り回ったり、陽の光が差すと虹を探しに外へ出たり、きれいに晴れた日は野球やサッカーをしたり探検をしに森に遊びにいったりと、思い切り自然 の中で遊ぶことができました。他にも、魚を捕まえる為に釣り道具を作ってみ

たり、野球を教えてもらってゲームをしてみたりと、キャンプ場でやってみたいことができて、それを仲間と叶えることもできました。

5 年目を迎えた今年の学童キャンプは、2 期合計 41 名の子どもたちとともに実施することができました新型コロナウィルスの影響もあり、実施方法を変更し、自分や相手の健康を守りながらキャンプを実施いたしました。 雨が降る日は、カッパを着てイモリやカエルを追いかけて走り回ったり、陽の光が差すと虹を探しに外へ出たり、きれいに晴れた日は野球やサッカーをしたり探検をしに森に遊びにいったりと、思い切り自然 の中で遊ぶことができました。他にも、魚を捕まえる為に釣り道具を作ってみたり、野球を教えてもらってゲームをしてみたりと、キャンプ場でやってみたいことができて、それを仲間と叶えることもできました。また、初めて生き物を捕まえたり、満点の星空や流れ星に出会ったり、大きなクモの巣やきれいな山 の景色に感動している姿もありました。 仲間と一緒に過ごす楽しさ、嬉しさを感じる機会も多くありました。日を経るごとに仲間の輪が広がり、深まっていきました時には喧嘩になることもありましたが、様々な気持ちを共有していきました。

多様な環境の子どもたちが集まるキャンプですから、様々な考え方や価値観に触れ、少しずつ子どもたち の心も大きくなっていきました。名古屋市内では熱中症や新型コロナウィルスの影響で仲間たちと外でのびのびと遊ぶ機会が少ない状況ですが、標高 1400 メートルの涼しく豊かな自然の日和田高原では、子どもたちはのびのびと過ごし、仲間と共に好きなものに夢中になれる環境がありました。

(毎年協力していただいているボランティアの林敦子さん、坂口メネット)

また、現地では様々なボランティアの方々にサポートをいただきました毎食ごはんを作ってくれたり話し相手になってもらったり、ギターを弾いてもらって一緒に歌ったりして安心する居場所を作っていただきました。

(7 月 30 日の朝食)

また、セカンドハーベストから食料品の提供をいただいたり、キャンプ場近くの松坂さんからも野菜の提供をいただいたりと、子どもたち の食事も豊かなものとなりました。 参加費の減免制度のあるこのキャンプは、多くの方のご支援をいただき実施をしております。子どもたちの、自然や仲間との豊かな経験をこれからも続けていく為に、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

第２弾!!日本語学院支援報告

吉田　一誠

8 月 4 日に名古屋 YMCA 日本語学院の生徒さんに坂口会長より日本のインスタントラーメン！を贈りました。6 月には、マスク、体温計、消毒液などを贈っています。　昨年より日本語学院の支援をグランパスクラブの活動テーマとして、いろいろな形での交流をしてきましたが、コロナ禍の影響で従来のよ

うな交流が難しくなりました。この困難な状況下で不自由な思いをされている留学生の皆さんを少しでも支援できることはないかと思っているグランパスクラブの活動の一環として物品の提供をしています。これからも継続的に交流と支援を行なっていきます。10 月 17 日には庄内緑地公園で BBQ パーティーをやる予定です。

（今回の支援品　定番のチキンラーメン）

（写真下は支援先留学生皆さんの国籍です）
（左　中国、右　台湾　（女性２名））

（左　香港、右　ベトナム（男性２名））

（左　フィリピン、右　台湾　（男女））

２０２０年度中部部会中止報告

2020～21 中部部長　早川政人

真夏の暑さの中、新型コロナ禍の影響は大きく、中部の事業も手を付けられずに日々刻々と時は過ぎ、色々と模索をしている現況です。

さて、今期の中部部会は、中部会長会・ホストクラブとの協議を経て、残念ながら中止を決定いたしました。ホストクラブと各クラブメンバーには気を持たせてしまいました。会場予定のルブラ王山様のご配慮により８月中の決定に協力して頂き感謝しています。中部主催のワイズ活動は別の企画を考えて行く予定です。

クラブ例会はオンライン（ＺＯＯＭ）で行われ、その効果かクラブメンバーの出席が多く例会が楽しくなっています。西日本区では国際・交流事業主任の九州部鹿児島クラブの中堀ワイズが、事業研修会を８月２７日にＺＯＯＭにて開催され、古田理事を始め多くの主査・部長も加わり活発な議論がなされました。その他の各事業主任も今後はＺＯＯＭにて研修・ミーティングを行われる予定です。以上近況ですが新情報が入り次第報告させていただきます。

ＹＭＣＡたより

7 月の大雨で大きな被害のあった熊本県球磨村に名古屋 YMCA のスタッフ（橋本、谷口）が災害支援として派遣されています。１ヶ月以上経つ現在でも避難所で生活している方や水害被害の片づけが進んでいない場所もあるようです。これから台風が来る時期となりますが、今後も大きな被害が無いように祈るばかりです。名古屋 YMCA の Facebook 等で現地の様子をお伝えしています。現地の人々に寄り添って活動が出来るようにお祈りください。

YMCA からのお知らせ

・9 月 20 日（日）～21 日（月・祝）
　日和田キャンプ場でファミリーキャンプを実施します。今年はクローズキャンプを実施せず 21 日にクローズ作業も行います。

・9 月 26 日（土）　午前中　YMCA 大会

・10 月 25 日（日）南山バザーは幼稚園の行事として
　実施のため幼稚園のスタッフで実施。
・11 月 7 日（土）　チャリティーラン
・街頭募金は中止となりました。

名古屋グランパスクラブ
担当連絡主事　遠藤美恵子

今　後　の　予　定

・10 月 17 日(金) ～11 月 17 日(日)
　　WEEK チャリラン開始
・10 月 20 日(火)　第二例会・WEB 例会
・10 月 25 日(日)　南山バザースタッフのみで開催

そ　の　他

1.　今月の誕生日

happy birthday

下村　明子（　２日）
松原　行謙（２４日）
荒川　恭次（２５日）

2.例会等出席状況

No	氏　名	8/2｜8/7 日和田第二期学童ＣＰ支援	8/15 第一例会・キャンプだホイ	8/25 第二ＷＥＢ例会
1	青木　哲史			○
2	阿部　一雄			○
3	荒川　恭次	○	○	○
4	遠藤恵美子	○	○	○
5	坂口　功祐		○	○
6	信田伊知郎			○
7	下村　明子			○
8	高田　士嗣		○	○
9	服部　庄三		○	○
10	早川　政人	○		○
11	坂野　清治			○
12	松原　行謙	○	○	○
13	三井　秀和	○		○
14	吉田　一誠		○	○
	ゲスト	5	15	1
	計	10	22	15

3. 日本語学院留学生支援物資応募依頼
　１　マスク　材質・サイズ問わず
　２　体温計　仕様・タイプ問わず
　３　消毒用スプレー・希釈用
　　・エタノール製剤(35%以上含有品)、
　　・界面活性剤成分含有製品、
　　・次亜塩素酸水(80ppm 以上品)
　４　除菌用ウエットティッシュ
　５　使い捨て手袋(食品衛生法適合品)
　６　その他、留学生へ支援となるもの
　７　インスタント麺、缶詰、乾燥品等らと
　　その他、日持ちする食品類。
南山ＹＭＣＡ遠藤担当主事へ各自持参してください

4. 第 27 回チャリティーラン　チラシ

マスクの下は誰でしょう？

5. 学童キャンプ支援サポーター　スナップ写真

家でもやってくれるかな

慣れない手つきですが経験です。